

## ヒアリング調査結果 ～病児・病後児保育事業 実施者～

○実施日時：平成31年3月4日（月）～3月11日（月）

○実施方法：病児・病後児保育事業を実施する事業者にアンケート票を送付し、回答してもらう形式で実施

○回 答：1件（1件は以前の状況を知る担当者がいないため回答困難との返答）

### 以前（5年ほど前）と比べて、子どもや保護者が変わってきたと感じること

内 容	回答数
甘えてくる子どもが増えた	0
子どもが忙しくなっている	0
わがママを言う子どもが増えた	0
生活リズムの崩れている子どもが増えた	0
子どもの健康を気につけない保護者が増えた	1
保護者が忙しくなっている	1
保護者からの無理な要求が増えた	1
生活リズムの崩れている保護者が増えた	1

- 病児・病後児保育室に持参する昼食が毎回コンビニ弁当の子が一定数いる。
- 両親のどちらかが休みでも、子どもを病児・病後児保育室に預ける親が増えてきている。

### 子育てで困っている（ように思われる）保護者や、何らかの支援が必要だと感じられる子どもと接した経験。その子どもや家庭の状況

内 容	回答数
子どもが、食事を十分にとれていないようだ	0
子どもが、学校等に友人がいないようだ	1
子どもが、服装や髪が不衛生なことが続いている	1
子どもが、不登校を経験している	1
家庭が、地域から孤立しているようだ	0
子どもが、学校の授業が理解できていないようだ	0
保護者が、家庭を顧みていないようだ	0
子どもに、非行や非行につながる問題行動がある	0

- “育てにくい子”が増えてきている印象がある。
- 持ち物（服やタオルなど）から常にタバコ臭や生乾き臭がする子が一定数いる。

**保護者の就労意識や、仕事と子育ての兼ね合いについての姿勢などで、以前（5年ほど前）と比べて、変わってきたと感じること**

- 子どもが病気でも仕事を休めない（休みにくい・早退しにくい）親が増えてきている。

まとめ-----

○病児・病後児保育事業の現場でも、保護者が忙しくなっていることを感じ取っている。その様子が、近年変わってきていると感じることとして「子どもの健康を気につけない保護者が増えた」「保護者からの無理な要求が増えた」「生活リズムの崩れている保護者が増えた」といった回答にも現れているものと思われる。

○病児・病後児保育事業を実施する中で、何らかの支援が必要だと感じられる子どもと接する機会があることがわかった。